

# ① はまなか

# 議会だより

NO.138

令和3年10月15日発行



## 9月定例会

予審	算議	町地域経済活性化促進奨励補助の内容は	2P~3P
二質	般問	7人の議員が町政を問う	5P~11P
		心是道 (上田 心結 さん)	12P

### 表紙の写真

さわやかな秋晴れの9月14日に農協の畑で霧多布・茶内・散布・姉別保育所合同のイモほりが行われました。たくさんのおイモを手にした子どもたちのうれしそうな笑顔もいっぱい見ることができました。



# 補正予算審議から

9月  
定例会  
8日～9日

9月定例会が8日・9日の2日間の会期で開催。一般会計・特別会計補正予算と条例改正など21議案が上程され、いずれも原案どおり可決しました。一般会計は9785万円を追加し、予算総額79億5962万円となりました。一般質問は、7人の議員が登壇しました。

## 町地域経済活性化 促進奨励補助の内容は

**問** 補助対象予算239万円の具体的な内容は、また、ふるさと納税返礼品としての取り扱いは。

**答** 補助対象事業は、個人事業者が新規で始める養殖ウニ加工施設74万円、塩水用パック16万円、折箱が34万円で合計124万円となり、その50%の62万円を補助する。

もう一件は浜中漁協で、特産品の新商品パッケージを8種類（蒸し柳タコ・酢ダコ・タコザンギ・やわらかブツ切りタコ・蒸しホッキ・ホッキ貝ソテー・時サケ輪切り・秋サケいくら）で300万円、パンフレッ

ト44万円と販売促進用ポスト10万円で合計354万円となり、その50%の177万円を補助する。

販売経路は、漁連のサイトでネット販売するほか漁協での店頭販売を予定。供給の目途がついた後にふるさと納税返礼品として取り扱う予定。

## 庁舎屋上の鳥よけ装置は

**問** 修繕料175万円は、鳥よけ装置を設置するとの説明である。庁舎屋上の縁には、ワイヤー状の鳥よけを施してあるが、新たな装置が必要となったものか。設置しようとする装置の内容とその効果は。

**答** 既存の鳥よけにより、カモメの糞害はないが、屋上にある20本のアンテナにカラスが飛来し糞を撒き散らかしている。

このたび設置するものは、風力で回転するステンレス製の装置で、アンテナの上部と中間に取り付けることでカラスの飛来を防ぐ効果が期待できる。設置例は、昆布森漁港・砂原漁港（函館）やホクレン白糠管轄の農場などで効果を発揮している。

また、屋上排水ドレンにもカラスが集まることからドレン用の回転装置を4カ所に設置する。



庁舎屋上のアンテナ群

## 茶内リンク給水栓の修理は

**問** 修膳料98万円の内容と、近年の利用状況は。

**答** 4カ所ある給水栓のうち1カ所だけが使用可能



交流の場として維持されるスケートリンク

## 加工場改修補助の内容は

**問** 浜中漁協に対する産業振興奨励補助170万円の内容は。

**答** 加工場の改修にかかる事業費670万円に対し25%を補助する。

加工場はこれまで生鮮加工に重点をおいて稼働してきた。

近年、サンマの不漁や代替えとしてのイワシも小形で生鮮に向かないので、資源量も安定しているホッキやタコを活用し付加価値を付け販売する。改修内容は、ポリパン洗浄室を加工品製造室にする。

※予定をしている製品と販路はP2を参照。

で、今回3カ所を11月末までに修理する予定。利用状況は、令和元年度533人、令和2年度は、茶内小学校のスケート授業が町民スケートリンクを利用

用することになり利用者が19人と激減した。しかし、週末には家族での利用が見受けられるので今後も住民の交流の場として維持していきたい。

## 式典運営支援委託料とは

**問** 霧多布港湾海岸防潮堤完成式典の委託料275万円の内容は。

**答** 12月に予定をしている式典に係る費用で、国からの強い要請に基づいて開催する。

また、国会議員、関係機関を含め多くの招待者が予想され、コロナ感染予防対策を徹底するため、式典運営を専門業者に委託する。

## その他の主な歳出

歳出の内訳	金額
財政調整基金積立金（前年度剰余金の1/2以上と条例規定の50万円）	5600万円
漁業後継者就業交付金（浜中漁協1人【女性】・散布漁協1人）	90万円
農業集落排水事業污水管渠工事（茶内若葉・旭町）	783万円

## 人権擁護委員の推薦に同意

天間館りゆう子氏は、12月31日付で任期満了となることから、引き続き適任と認め、推薦に同意しました。

また、中村裕子氏が12月31日付の任期満了をもって退任することになり、後任に佐々木栄氏を適任と認め、推薦に同意しました。



天間館りゆう子氏  
(霧多布)



佐々木 栄氏  
(茶内)

## 教育委員の 任命に同意

栗本英彌氏が、10月31日付で退任することになり、後任に小黒雅臣氏の提案があり無記名投票の結果、全員賛成で適任と認め、任命に同意しました。



小黒 雅臣氏  
(霧多布)



霧多布クリーンセンター

### II 工事請負契約 を可決 II

□防災行政無線整備工事

(契約先) サンエス・浜中無

線経常建設共同  
企業体

(契約金額) 8250万円

(工期) 令和4年3月15日

□霧多布クリーンセンター

ストックマネジメント事

業改築工事(機械)

(契約先) (株)日立プラントサ

ービス北海道営  
業所

(契約金額) 7064万円

(工期) 令和4年3月10日

### II 財産の取得を 可決 II

□エアータレント 2張

(取得先) (株)ムラカミ

(取得金額) 836万円  
(納期) 令和4年2月28日

### 決算審査特別 委員会を設置

令和2年度の各会計の決算書が監査委員の意見書を添えて議会に提出されたことにより、議長・議選監査委員を除く10名の議員による委員会を設置し、閉会中の継続審査とした。

### 意見書(可決)

◇林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

◇コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財源の充実を求める意見書

◇国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

(全員賛成)

可決した意見書は、内閣総理大臣をはじめ関係大臣、衆・参両議院議長に提出しました。



# 一般質問

川村 義春 議員



問

避難施設のない  
地域の防災対策は

答

避難タワーなど  
長期的視野で整備

**川村** 高台のない避難困難地域である新川西、仲の浜、琵琶瀬親睦地域は、車による避難としている。危惧することは、湿原内のMGロード約2キロ区間、これは泥炭形成地帯で軟弱路盤、寿磯橋もあるので、震度7以上の地震で地盤沈下・液状化が懸念され、避難困難と予想される。徒歩による避難を津波避難計画に定め、

この3地域に避難タワーの設置を進め、地域住民の命を守る避難体制を確立すべきではないか。

**町長** 避難困難地域の車避難のリスクは非常に高いと認識している。新川から琵琶瀬までは非常に広い範囲となっており、避難施設の場所・種類は、事務担当が専門家を交えて検討している。津波の脅威から地域住民の命を守るため、避難体制の整備に努める。

**川村** 昨年12月定例会で南海トラフ地震対策と同様に避難タワーの整備を要請したが、道が公表する浸水深と基準水位が出なければ避難タワーの高さを決められず設計積算は無理と言われた。本年7月に道が浸水深などの基準水位の指標を示したので、早急に3地域の建設場所の設定、設計積算をすべきと思うが。

**町長** 3地域への対策は、避難タワー・避難艇の整備を含め地域に入って話しをさせてもらいたい。

また、南海トラフ並みの特措法を含め、新たに千島

海溝の法律が来年3月に出てくる。そこから新たな対策事業ができるので、長期的視野で事業計画をつくる。

計画づくりは議会と協議・報告を含め、地域住民の意見を聞いて町の防災担当・財政担当で事業を固め総合計画にも入れていきたい。

**問** 琵琶瀬展望台トイレのウォッシュレット化は

**答** 導入を検討したが現状では難しい

**川村** 国定公園内の琵琶瀬展望台トイレの改修に国の交付金活用は可能か。

**町長** 改修工事は、交付金の対象外で全面的な建て替えは活用可能となる。

**問** 予算の  
効果的執行を

**答** 今後は  
早期発注したい

**川村** 当初予算で議決の散布保育所の屋根・壁の改修工事と津波避難場所のアゼチの岬・火散布コンテナ付近への照明灯設置工事の発注が遅れているが。

**町長** 保育所は10月10日の契約。照明灯設置は9月中の発注を予定。



写真で見る避難困難地域

# 一般質問

前田 光治 議員



**問** サケの水揚げ不振対策は

**答** 現況では難しい

**前田** ここ数年道内におけるサケ定置漁の水揚げ不振が続く浜中町も同様である。この対策は。

**町長** サケの不漁は、水産試験場によると、えりも以东の釧路・根室の落込みが著しいとのことであり、さまざまな要因が考えられる。現在、専門機関が原因究明および増殖について調査しており少し時間が必要である。

ある。

現況では、各漁協や町としても対策は難しい。

**前田** サケ定置漁の不漁による乗組員の賃金は、水揚げ高による歩合給が少ないため、乗組員不足となり、経営者である親方も乗船し経費節減を図っていると聞くが。

**町長** サケ定置漁業は、両漁協とも複数の法人組合で共同経営体を組織している。高齢化などによる将来的な乗組員確保は難しい問題であると認識している。

**前田** 親魚確保のため、以前は町と漁協が協力し幌戸川で捕獲をしていたが、現在は。

また、捕獲場の整備は。  
**町長** サケ・マス振興事業協会の事務局が町から浜中漁協へ移管後、町は捕獲事業に携わっていない。

近年は捕獲数が減少しているが、継続して親魚確保に努めている。

また、捕獲場の整備は十勝釧路管内サケ・マス増殖事業協会からの補助の範囲内で行っている。



網を積み込む定置船

# 一般質問

加藤 弘二 議員



## 問 人口減にストップ 移住・定住の呼び掛けは

## 答 総合計画を基本に

**加藤** 現在の霧多布市街の住宅数と空き家戸数は。

**町長** 8月末現在、住民基本台帳での世帯数は411世帯、空き家戸数は27戸となっている。

**加藤** その空き家を更地にして売り出したら坪単価はいくらか。

**町長** 霧多布地区平均で、一坪1万8150円である。

**加藤** 都会の地価は、個人



花と野菜を育てる余生

が買える値段ではない。  
浜中町の住環境はどうか。

**町長** 霧多布湿原を中心  
に、多くの岬を有する海岸

線、広大な牧草地や森林が広がるなど漁業と酪農業を基幹産業とした自然豊かな町である。移住者にとって、夏は涼しく、冬は雪も少ない。住みよい環境にあると認識している。

**加藤** 移住・定住者の対象者は、公務員退職者に特定。年金支給額が偶数月で37万円。退職時に退職金・貯金合わせて4千万円の額が見込まれる。

都会で働く勤労者の老後の生活は、自然豊かな当町への移住・定住を呼び掛けではどうか。

役場に、移住・定住課を設けて、移住者を一年に10戸20人、10年で100戸200人増えらるれば、町内の建設関連業者に仕事が回ってくる。食料品店も品数を増やし、新しい店の建築も必要となるなど、大きな経済の発展が図られるのでは。

**町長** 現状の人口を増やすことは並大抵のことではない。町は総合計画、総合戦略を基本に取り組みたい。



# 一般質問

小松 克也 議員



問

## 太陽光発電の現状と問題点は

答

## 今後の動向を注視したい

**小松** 国の温室効果ガス削減目標が、今後9年間で46%は無理があると思う。本町での太陽光発電設置総数およびトラブルは。

**町長** 設置総数は、令和元年度256件、2年度276件、3年度は現在まで308件となっている。トラブルは起きていない。

**小松** 太陽光発電は変動が激しくコストも割高になる

ようだが。

**町長** 経産省の試算発表では、パネル価格の低下でコストが割安になっている。一方、パネルの需要が増え価格が上昇しているとの一部報道もあり、先行きが見えない状況にある。

**小松** 太陽光発電の増設は津波の被害や土砂災害のリスクを高め、再生可能エネルギー発電促進賦課金が加算され電気料金の負担額は現在より割高になると思われるが。

**町長** 太陽光発電の増設による地域の問題は難しいものがあるが、太陽光だけにとどまらず他の発電方法も一長一短がある。再エネ賦課金も上昇しているが、国のエネルギー政策であり、今後の動向を注視したい。

**小松** 将来的に発電パネルは産業廃棄物として処分される。パネルにはカドミウムや有毒物質が含まれている物もあり処理困難物として扱われ、不法投棄の温床となる可能性がある。町として処理に対する強制力のある制度を制定すべきでは。



増え続ける太陽光発電施設

**町長** 発電終了後の撤去処分は廃棄物処理法で適切に処理を行うことと定めているが、法令を遵守せず放置される恐れもある。国も撤去費用の積み立てを業者に義務づける制度を検討しており、町もなんらかの対策を講じるべきと認識している。設置や処分が適切に行われるよう指導や助言をしていきたい。

**問** コロナ対策としてイベルメクチンの投与は検証結果を注視する

**小松** イベルメクチンは、保険適用となり患者と医師の合意で投与できると聞いたが。

**町長** この薬は、コロナ感染症への有効性が明確に示されており、結果を注視したい。



# 一般質問

田甫 哲朗 議員



## 問 公共施設改修の優先順位は

## 答 現状を共有し 十分な協議を経て

**田甫** 町有施設の維持は従来までの建て替えではなく築80年まで使用することを基本として劣化診断を基に長寿命化計画が平成30年に策定された。

学校・社会教育施設で、4段階診断のC評価（安全・機能上不具合発生兆し）がある施設は、茶小校舎、茶中校舎・体育館の屋根・屋上と霧中校舎・体育館の電

気・機械設備・外壁と文化センターの屋根・屋上・外壁である。

令和9年度改修予定の文化センターを次年度から長寿命化改修（約9億円）する計画であるが、改修内容と3年前に策定した計画を5年も前倒す理由は。

**町長** 改修予定箇所は、屋上防水・外壁タイル・躯体損傷部・天井の一部・排煙設備・エレベーター更新・受電設備・照明LED化・



雨漏りが発生している茶小校舎

舞台装置・給排水・空調・暖房設備・郷土資料館のリニューアルなどである。

改修を早める訳は、受電設備の点検で9カ所の指摘があり、水銀灯の生産が今年で終了し、エレベーターの部品供給も2年後に終了となる。また、この3年の間にモンキー・パンチコレクションと宮川博元<sup>ひろゆき</sup>記念ギヤラリーが開設され貴重な作品を雨漏りなどから守るためである。

**田甫** 雨漏りは数年前から発生しており屋上防水は急務であるが、2〜3年で9億円を充当することは財源が限られる中、学校施設C評価部位改修の遅れが懸念される。現在、複数の雨漏り箇所がある学校もあり教育環境の整備が優先されるべきと考えるが。

**町長** 新年度予算策定時に、担当課をはじめ建設課など関係各課で情報を共有し、優先度も含め十分協議を重ねて判断して行く。

## 問 樋管ゲート改修の進捗状況は

**答** 国との協議を進め早期に実施したい

**田甫** 水門班職員の安全確保には、樋管のフラップゲート化が不可欠である。現在までの進捗状況は。

**町長** 樋管5カ所の内、水取場（道が実施）と一区が国の補助を受け町が実施。今後、継続して国との協議を進めるとともに起債など有利な財源確保を図り、残る3カ所の早期完了を目指したい。

# 一般質問

渡部 貴士 議員



**問** 地域おこし協力隊の増員を

**答** 希望団体への派遣も検討したい

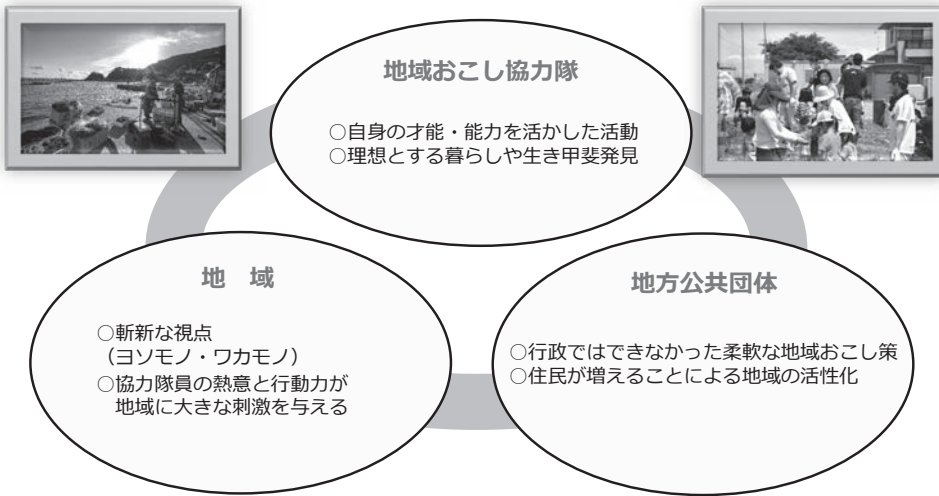
**渡部** 平成21年度に導入された地域おこし協力隊は、地方自治体が他地域からの移住希望者を隊員として採用し、地域交流や1次産品のブランド化などに従事する制度で活動期間は1〜3年、給与や活動費を総務省が特別交付税措置として100%補助するものである。国は、コロナ禍での地方暮らしの関心の高まりを受け「密」を避ける生活やオ

ンラインの普及で若者の価値観が変わり地方回帰が進んでいると分析し、令和3年度予算の1億5千万円から来年度は2倍の3億円に予算を計上する方針とした。全国的には隊員の約7割が20代と30代で、任期終了

後の定任率は約6割、隊員の4割が女性であり、地域おこし協力隊員の採用数は、その自治体の地域おこしに対するパロメーターともされている。協力隊導入の効果は

## 地域おこし協力隊について②

地域おこし協力隊導入の効果  
～地域おこし協力隊・地域・地方公共団体の「三方よし」の取組～



総務省ホームページより

地方での暮らしをしながら、自身の才能や能力を活かした活動ができる。  
○地方公共団体は、行政ではできなかった柔軟な地域おこし策が期待でき、住民が増えることによる地域活性化につながる。  
○地域は、斬新な視点と熱意に大きな影響を受ける。とされている。  
以前にも地域おこし協力隊増員の質問をしているが、人口減少と空き家対策、地域活性化の方策など本町にとって大変有効な制度だと考えるので、複数名の募集をすべきでは。  
**町長** 現在1人を採用しており、来年5月で3年間の任期満了となるので業務を引き継げるよう1人を募集している。  
本町の地域おこし協力隊は、会計年度任用職員のように町との雇用契約という形式である。協力隊の派遣を希望する団体の事業内容が町の考える地域振興などの方策と一致するようであれば、派遣を検討したい。



# 一般質問

落合 俊雄 議員



## 問 ルパン三世Payの普及は

## 答 今後の取り組みに期待

**落合** ルパンカードの後継としてスタートした電子決済システム「ルパン三世Pay」だが町民に広く認知されているとはいえない。さらに、比較的大きな事業所が参加を見送ったが。

**町長** その要因は、レジシステムが本社で一元管理されていることやレジシステムとの連携ができないことなどから2事業所が参加を見送った。

当初、商工会が町民説明会を5日間10カ所で開催していたが緊急事態宣言とも重なり6カ所での開催にとどまった。参加状況も悪く関心の低さが感じられたが利便性は理解されたと思う。説明会実施に当たっての周知方法がチラシ配布のみできめ細かい対応が必要だったと感じている。

**落合** 町内全世帯にカードを無料配布したが、その利用状況とこの間の取扱金額は。

**町長** 全戸に配布した2328枚に対し、8月末までの3カ月で利用されたカードは515枚。利用率は22%、取扱高は2473万円となっている。

**落合** 当初計画の取扱高5億円に対して、その1%500万円を見込んでいたが現状は非常に厳しいと言わざるを得ない。地域経済活性化のためとしてこれまで取組んできたプレミアム商品券の代わりとしてスタートしたはずである。それを踏まえても今後さらなる取組が求められると思うが。

**町長** この事業は商工会が主体となって行うもので町民の利用率もまだ低いことから商工会には現在利用可能な43事業所に加え、事業所の拡充やカードの普及啓発活動に努めてもらうようお願いをしている。

また、システムの連動性を理由に参加を見送った事業所に対しても今月中にシステム会社と連動性などの改善を図るべく協議検討がされると聞いている。今後に期待したい。



ルパン三世Payの決済機器

# 心是道

霧多布高等学校  
2年A組

上田 心結<sup>みゆ</sup>



## 「浜中学」を学んで

私は約1年間浜中学を学び、今までに知ることができなかった町の魅力や課題を見つけることができました。まず1年次では、浜中町にある各施設へ足を運び、「浜中町の歴史」「浜中町の自然」「浜中町の食」について学びました。その中でも浜中町総合文化センターの郷土資料館へ行き、歴史について学習したことが特に印象に残っています。浜中町に長く住んでいても知ることができなかった動物や人々の暮らし、文化に触れることができました。この

授業を通してもっと多くの人が興味を持ち、積極的に浜中町を知るべきだと感じました。また講師の方々に来ていただき、魅力だけではなく現在浜中町が抱えているリアルな課題まで聞くことができました。1年次では「知る」をテーマに、自らが体験し、様々なことに触れる機会が多かったです。2年次からは「調べる」をテーマに昨年の活動を踏まえ、町の魅力や課題を話し合い、グループごとに授業を進めています。1つ目の活動は、浜中町に仮想の道の駅をつくるというものです。浜中町全体を見て人が集まりやすい場所に設置し、道の駅でPRするものを考えています。またフロアマップや外観も考えました。2つ目は、新イベントの企画です。現在浜中町では「ルパンフェス」「岬まつり」「うまいもん市」など様々なイベントがあります。そのイベントを参考にし、各グループに分かれ、タイムテーブルや日時などイベントの概要を詳しく決め、パンフレット、ポス

ターを手作りし、発表を行いました。この2つの活動を通して、浜中町にはまだまだ知られていない魅力がたくさんあり、自分たちの手で多くの人に知ってもらいたいという気持ちが高まりました。そして現在は、「DAYキャンプ」を行うことを予定しています。このキャンプは霧多布湿原センターで行い、各班に分かれて調査を行います。写真や動画を撮り最終的にはPR動画を制作します。魅力をただ伝えるのではなく、どのようにしたら人が集まるか、興味を持つてもらえるか考え、3年次で行われる浜中学報告会につなげていきたいと思っています。

- 揮毫 書道部2年B組 竹詰ゆずかさん
- 読み方 しんぜどう
- 意味 普段の心を守る ことが大切である。

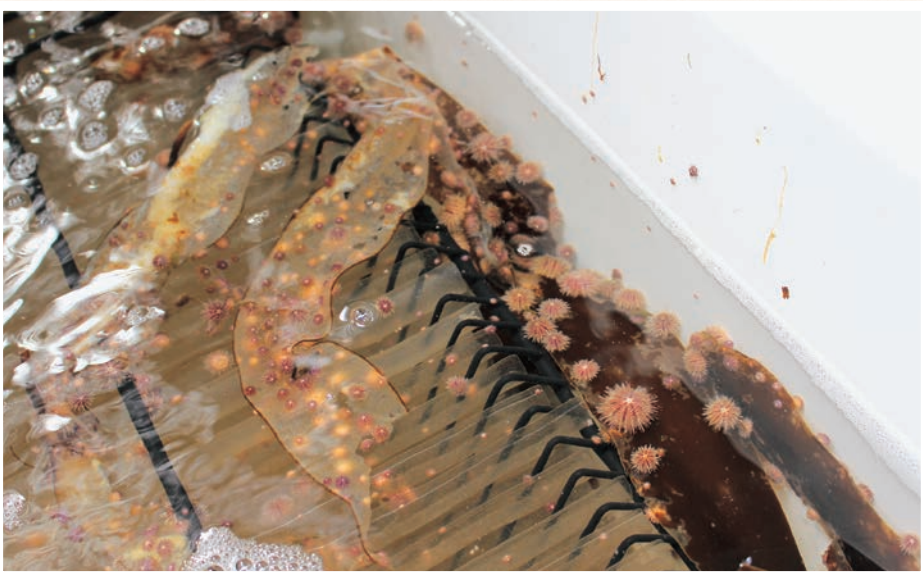


## 町のトピックス

浜中町ウニ種苗生産センター

9月14日撮影

稚ウニ  
浜中で生まれた稚ウニが、浜中の昆布を食べて育っています。オール浜中の「浜中養殖うに」希望の1期生。



町のトピックス(話題)を募集します!

この欄に掲載するまちの季節の写真をお寄せください。次回の発行は令和4年1月15日です。

ご応募はこちらへ 浜中町議会事務局 E-mail: gikai@town.hamanaka.lg.jp TEL: 62-2265

発行 北海道浜中町議会  
編集 議会広報聴常任委員会

〒088-1592  
北海道厚岸郡浜中町湯沸4-45番地  
☎0153-62-2220・2265

この議会だよりは再生紙を使っています